

子どもたち星空楽しむ

豊 障 連
さくらピアで

プラネタリウムを設営

豊橋市障害者福祉会館「さくらピア」で28日、障害のある子どもたちを対象にした「サマースクール プラネタリウム」を開催。館内体育館に移動プラネタリウムを設営し、皆で星空やランタンの明かりを楽しんだ。

同館指定管理者の豊橋障害者(児)団体連合協議会(豊障連、山下徹会長)による事業で、手をつなぐ育成会や肢体不自由児(者)父母の会役員らが中心と

なって、毎年、夏休みの登校機会が少ない子どもたちのため趣向を凝らしたイベントを行っている。今年も、昨年好評だった子ノ星教育社(兵庫県)による移動プラネタリウムを引き続き企画した。

台風のため当初の予定日から一カ月遅れとなった開催で、午前中は楽しみにしていた小学3年から中学3年までの親子6組が参加。体育館内に巨大なエアドームを設営、車

イス利用者を含む障害児と保護者らが投影機で映し出されたまばゆい星空を見ながら、同教育社の坂元誠さんの解説に耳を傾けた。また、ペットボトルにモールや水で膨らむビーズなどを入れ、フタの部分にLED電球を付けたカラフルな光を放つランタン作りにも挑戦。完成したランタンを手に再びプラネタリウムに入り、投影された星空とランタンの光との共演

に目を輝かせた。

「とても楽しかった!」と子どもたち。午後からは大人向けにプラネタリ

ウムを開放し、同館利用者や近隣住民ら約20人が美しい星空を体感した。

(田中博子)



移動プラネタリウムで星空を楽しむ親子
＝さくらピアで(提供)